

自分の命を守る

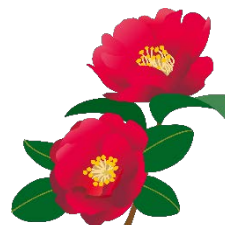
校長 関川 紀美子

2月も半ばを迎えます。「2月は逃げる」とよく言われますが、節分、立春が過ぎ、春を迎える季節になりました。校舎の外は、まだまだ銀世界が広がり厳しい寒さも続いています。春までもう少しの我慢といったところでしょうか。

2日、今年度最後の避難訓練(5回目)を行いました。

休み時間に突然、地震緊急アラームが鳴り、避難訓練の校内放送を聞いた子どもたちは瞬時に机の下にもぐり(机がない場合は、落下物等のない安全な場所へ移動)、自分の身を守る体勢を取りました。次の校内放送で、揺れが収まったことを確認すると、机の下から出て、放送で指示された場所へと避難行動をとりました。今回は、「予告なし」の命を守る訓練でした。休み時間ですので、子ども自身が放送内容を理解し、指示に従い、落ち着いて行動することを求められますし、地震による窓ガラスの散乱や落下物などを想定し、自分の身を守るための判断もそうです。

避難訓練時には子どもたちに次の話を放送でしました。



<避難をする子どもたち>

今、地震が日本各地で起きています。海外では、最近「トンガ諸島」というところで大きな地震が起きました。この地震で起きた「津波」が日本にきて、真夜中に大勢の人が避難することも起きました。津波で避難することは、海に近い藤塚小学校も大いに関係があります。

いつでも、どこにいても、一人の時でも、自分の命を守ることができるように今日の避難訓練はとても大切な時間でした。

教頭先生の緊急放送がありました。どのようなお話であったか分かりましたか。大事な言葉がたくさんありましたね。

普段から放送に限らず、話を静かに聞くことは、自分の命を守ることにもつながるということがよく分かります。非常事態が起きた時に、人はパニックになりやすく自分で判断することが難しくなります。だから訓練をして、いざというときに備えるのです。

今日の避難訓練は、休み時間に地震が起こり、静かに放送を聞いて安全な避難行動をすることができるかを確認する時間でした。この後、振り返りをして、災害に備えることができるようにしましょう。

日頃より、保護者や地域の皆様、関係機関の皆様から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の取組にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。まだまだ予断を許さない状況が続いております。今後も引き続き感染症予防対策の徹底に、ご協力をよろしく願いいたします。